第７期（第１回）亀田地区公民館運営審議会

次　第

日時：令和元年６月 26 日（水）
午後２時 ～
会場：亀田地区公民館　講座室１

１　開　会

２　館長あいさつ

３　委員及び職員自己紹介

４　議長・副議長選出
※議長・副議長あいさつ

５　議事・報告事項
（１）平成３０年度事業報告（事業評価）について
①亀田地区公民館
②曽野木地区公民館
③横越地区公民館

（２）令和元年度事業計画について
①亀田地区公民館
②曽野木地区公民館
③横越地区公民館

（３）その他

６　閉　会

資料１－１

平成30年度　公民館事業報告

亀田地区公民館

〔H31.03.31現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30予算（千円）	H30決算（千円）	開設数	対象	回数	時間	開催月	募集人数	応募人数	参加者数	延参加数	連携・共催（特記事項）
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	お亀楽縁	地域の希薄な関係を見直し、近所同士で気軽に助け、支え合える関係づくりをサポートすると共に、地域課題解決のための人材を育成する	26	19	1	総合	6	午後	5.7.9.11 1.3月	―	58	58	58	江南区社会福祉協議会
	[redacted]	コミュニティ・コーディネーター育成講座	地域の課題解決に対する取り組みの中心的役割を担うコミュニティ・コーディネーターを育成するため「防災」をテーマにした講演会を実施	180	185	1	成人	1	午後	3月	50	37	37	37	江南区地域総務課 NPO法人プラスアーツ 曽野木・横越地区公民館
	[redacted]	茶の間の学校	地域の茶の間開設支援、および既存団体の活動支援	―	―	1	成人	3	午前 午後	10月	40	25	25	65	地域包括ケア推進課 江南区社会福祉協議会 江南区健康福祉課
	4	活動協力員実施事業「ハーブを加えた寄せ植えで楽しもう」	地域住民のつながりを形成することで、地域の活性化を図る ※活動協力員による企画実施事業	38	26	1	成人	4	午前	9～10月	20	23	23	75	亀田地区公民館活動協力員 企画会議：5回（延参加：23人）
	[redacted]	夏休みお楽しみ会	誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、地域の大人や子どもの学習、体験活動を通して地域愛の醸成、世代間交流を図る	0	7	1	総合	1	午前 午後	8月	25	25	25	25	早通小学校区コミュニティ協議会 早通小学校
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	5	子ども夏まつり in KAMEDA	亀田地区青少年育成協議会と連携し科学に関する工作体験活動を実施	―	―	1	少年	1	午後	8月	―	97	97	97	亀田地区青少年育成協議会 ※育成協予算
	6	ふれあいスクール事業【公民館出前】亀中「かわいい粘土細工」	学校へ出向き、空き教室等を利用した講座	11	11	1	総合	2	午前	11月	10	11	11	21	亀田中学校 地域教育コーディネーター
	[redacted]	ふれあいスクール事業【公民館出前】大淵小「おおぶち学びの部屋」	学校へ出向き、空き教室等を利用した講座	41	30	4	総合	4	午後	7.9.10 11月	60	40	40	40	大淵小学校 地域教育コーディネーター
		ふれあいスクール事業【公民館出前】亀小「フラワーアレンジメント」	学校へ出向き、空き教室等を利用した講座	7	13	1	総合	1	午後	3月	15	16	16	16	亀田小学校 地域教育コーディネーター
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	7	プレママパパ講座	妊娠中の親が安心して子育てができるための講座	31	26	1	成人	3	午前	5～6月	20	10	10	17	
	8	乳児期家庭教育【ゆりかご学級2期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う講座	171	165	1	成人	5	午前	6～7月	30	31	24	107	
			保育	―	―	1	乳児	5	午前	6～7月	20	27	19	82	
	9	乳児期家庭教育【ゆりかご学級4期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う講座	175	185	1	成人	5	午前	1～2月	30	21	21	85	
			保育	―	―	1	乳児	5	午前	1～2月	20	22	22	52	
	[redacted]	家庭教育講演会	公民館出前講座 （学校・コミ協・保育園・企業等と連携した家庭教育講演会）	109	70	5	成人	5	午前 午後	6～3月	50	75	71	71	亀田コミュニティセンター、大江山コミュニティ協議会、亀田商工会議所、亀田東児童館
	11	児童期家庭教育学級	児童期の家庭教育における課題を学び合う講座	67	56	1	成人	4	午前	6～7月	20	20	20	56	企画会議：4回（延参加：9人）
			保育	―	―	1	乳児	4	午前	6～7月	6	4	4	13	
	12	父親学級	父親としてのあり方を考える講座	34	26	1	成人	5	午前 午後 夜間	6～9月	20	16	16	40	企画会議：1回（延参加：5人）
	13	カムかめねっと編集	子育て情報誌の編集	25	25	1	成人	15	午後	通年	―	6	6	42	編集ボランティア（6人）
	14	プチプチひろば	0歳児と保護者のための居場所	13	12	1	総合	19	午前	通年	―	387	387	387	毎月第2・4火曜日開催 ボランティア（4人）
	15	おはよう朝ごはん料理講習会【早通小コミ協】	子どもたちの基本的生活習慣の形成と地域・家庭の教育力の向上及び地域づくり・組織づくりを推進する	―	―	1	総合	1	午前 午後	12月	30	29	29	29	早通小学校区コミュニティ協議会・早通小学校 ※中央公民館予算
4. 青少年の生きる力を育む事業	16	中・高校生向け学習室	第2・第4土曜日に学習室を開放	1	0	1	少年	24	午前 午後	通年	―	127	127	127	
	17	学習室【夏休み・春休み】（音楽室解放含む）	夏休み、春休み期間中の学習室及び音楽室開放	0	0	2	少年	42	午前 午後	7～8月 3月	―	286	286	286	
	18	夏休みわくわくキッズスクール「ペットボトルロケット作成、カーリンコン体験」	夏休み期間中に実験などの体験活動を行うことで、学区を越えた参加者同士の交流の場を提供し、生きる力の向上につなげる	73	25	1	少年	1	午前 午後	8月	30	11	11	11	新潟大学教育学部学生グループ「gakusya」
	[redacted]	子ども体験事業「すごろく作り」	子どもたちに、自分たちでも遊びを作り出せること、コミュニケーションを取って遊ぶことの大切さを学ぶ機会にする	0	0	1	少年	1	午後	10月	15	12	12	12	新潟大学教育学部インターンシップ協力事業
		春休みわくわくキッズスクール「カーリンコン体験、すごろく作り」	春休み期間中に、学区を超えた参加者同士が運動や工作で交流する場を提供し、生きる力の向上につなげる	0	23	1	少年	1	午前 午後	3月	30	5	5	5	新潟大学教育学部学生グループ「gakusya」
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	19	福寿大学	高齢者の自主活動の支援、生きがいを見出す講座	110	110	7	高齢者	145	午前 午後	通年	―	202	202	4,979	福寿大学運営委員会
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	20	芸術に親しむセミナー	芸術に親しむための講座	47	38	1	成人	5	午前 午後	10～11月	10	10	10	39	
	21	江南区文化会館合同事業 たまてKOBU	公民館・図書館・郷土資料館との連携事業を行うことで、利用者の拡大と交流を図る事業	18	5	1	総合	1	午前 午後	8月	―	193	193	193	江南区文化会館 亀田図書館 江南区郷土資料館
7. その他	22	かめだ音楽祭	合唱・演奏団体の発表会	30	31	1	総合	1	午前 午後	11月	―	―	424	424	かめだ音楽祭実行委員会 企画会議：3回（延参加：44人）
	23	亀田地区市民文化展	作品展示・茶席ほか	120	120	1	総合	1	午前 午後	11月	―	―	1,939	1,939	亀田地区市民文化展実行委員会、江南区健康福祉課 企画会議：3回（延参加：64人）
	24	公民館体験学習	亀田地区公民館利用サークルの体験学習	0	0	1	総合	22	午前 午後 夜間	3月	―	―	68	68	公民館利用団体
合　　計				1,327	1,208	46	―	343	―	―	551	1,826	4,238	9,498	

大江山公民館

〔H31.03.31現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30予算（千円）	H30決算（千円）	開設数	対象	回数	時間	開催月	募集人数	応募人数	参加者数	延参加数	連携・共催（特記事項）
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	大江山地域学習会	大江山地区の歴史を見つめ直すことで、地域の宝を再発見し、後世への継承と地域活性化を図る	26	26	1	総合	1	午後	3月	50	36	36	36	大江山地区コミュニティ協議会 大江山地域学習会
	[redacted]	大江山の昔話を学ぼう	地域の昔話しの保存と活用を機に住民同士のコミュニケーションを図ることで、地域つながりの醸成、活性化につなげる	0	19	2	総合	2	午前	7.12月	40	55	55	55	大江山地区コミ協、丸山小、大渕小、大江山中 企画会議：2回（延参加：6人）
7. その他	2	文化とスポーツの祭典	作品展示、芸能発表、各種スポーツ大会	―	―	1	総合	1	午前 午後	11月	1,000	―	800	800	大江山地区コミュニティ協議会
合　　計				26	45	4	―	4	―	―	1,090	91	891	891	

資料１－２

平成30年度　公民館事業報告

曽野木地区公民館

〔H31.03.31現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30予算（千円）	H30決算（千円）	開設数	対象	回数	時間	開催月	募集人数	応募人数	参加者数	延参加数	連携・共催（特記事項）
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	まなびやサロンそのき	健康・介護・福祉など個人や地域が抱える諸問題について学ぶ。子どもたちとおとなが一緒に楽しめる催しも年4から5回くらい入れていく。	49	37	1	総合	12	午前午後	通年	—	—	624	624	社協・曽野木小ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ・曽野木小PTA・活動協力員（企画会議：23回/延215人）
2. 学・社・民の融合による人づくり，地域づくりを推進する事業	2	おとなの雑学	てづくり楽校（大豆が主役のごはん）	38	27	1	成人	1	午前	6月	26	30	30	29	曽野木中学校
	3		てづくり楽校（キッチンハーブで健康生活）			1	成人	2	午前	9月・10月	24	13	13	26	曽野木小学校
	4		てづくり楽校（おもしろ実験クッキング卵のヒミツ）			1	親子	1	午前	12月	32	22	22	22	東曽野木小学校
	5		てづくり楽校（てづくり豆腐）			1	成人	1	午前	3月	26	26	26	26	東曽野木小学校
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	6	乳児期家庭教育学級（ゆりかご学級）	乳児期のこころと身体の発達について考える	350	150	1	成人	5	午前	5月～6月	20	17	17	77	
			保育				乳児	5	午前	5月～6月	20	18	18	82	保育者延46人
	7	幼児期家庭教育学級	幼児期のこころと身体の発達について考える		191	1	成人	5	午前	6月～7月	30	33	33	188	企画会議　5回　延17人
			保育				保育	4	午前	6月～7月	18	36	36	115	保育者延55人
	8	子育てサロンぽっかぽか	おやこの居場所と情報交換	0		1	総合	19	午前	4月～3月	—	—	50	50	
	9	保育者交流会	保育者との情報交換	0		1	成人	2	午前	9月・3月	—	—	6	6	
4. 青少年の生きる力を育む事業	10	そのキッズ	きもだめし大会	10	3	1	少年	1	夜間	7月	50	58	56	53	企画会議　3回　延41人 当日はボランティアスタッフ33人
	11		夏休み子ども映写会	0		1	少年	1	午後	8月	100	—	103	103	曽野木ひまわりくらぶ
	12		子ども吹き矢大会	0		1	少年	1	午前	8月	30	40	37	37	吹き矢サークルの協力
	13		つくって食べておどって！	0	16	1	少年	1	午前午後	3月	20	24	22	22	
	14	子どもの居場所	小中高校生のフリースペース	0	0	1	少年	347	午前午後	通年	—	—	1,727	1,727	
	15	学習室開放事業	個人学習の支援	0	0	1	少年	347	午前午後	通年	—	—	258	258	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	16	高齢者いきいきセミナー（アクティブシニア）	高齢者がいきいきと楽しく学べるもの（3B体操）	69	43	1	高齢者	5	午前	10月～11月	40	25	25	85	
6. 現代的課題を探り，解決を支援する事業	17	そのき市民学級	大切ないのち　輝けいのち	80	71	1	成人	7	午前午後	6月～12月	100	85	85	379	企画会議　4回　延12人
	18	共生セミナー	子どもの人権を考える	126	150	1	成人	2	午前	11月	100	157	157	157	企画会議　5回　延32人
			保育				乳幼児	2	午前	11月	22	17	17	27	保育者延16人
	19	おやこあそび	ふれあい遊び・手遊び・パネルシアター・エプロンシアター	0	13	1	総合	2	午前	2月	60	31	31	37	
7. その他	20	そのきミュージックフェスティバル	洋楽器、コーラスの発表	4	4	1	総合	1	午後	7月	—	—	159	159	企画会議　2回　延13人
	21	曽野木地区文化祭	作品展示、音楽芸能発表会	5	5	1	総合	1	午前午後	10月	—	—	717	717	企画会議　2回　延13人
合　計				731	710	21	—	775	—	—	718	632	4,269	5,006	

両川公民館

〔H31.03.31現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30予算（千円）	H30決算（千円）	開設数	対象	回数	時間	開催月	募集人数	応募人数	参加者数	延参加数	連携・共催（特記事項）
4. 青少年の生きる力を育む事業	1	子ども体験教室	映写会・レクリエーションなど	8	0										映写会を計画したが、ひまわりクラブの協力が得られなかった。
6. 現代的課題を探り，解決を支援する事業	2	両川元気塾	「60歳から始める元気」づくり　3B体操	16	16	1	総合	2	午前	2月	40	17	17	26	
7. その他	3	両川地区文化祭	作品展示、チャリティバザーなど	0	0	1	総合	1	午前午後	11月	—	—	94	94	企画会議　3回　延17人
合　計				24	16	2	—	3	—	—	40	17	111	120	

資料１－３

平成30年度　公民館事業報告

横越地区公民館

〔H31.03.31現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30予算（千円）	H30決算（千円）	開設数	対象	回数	時間	開催月	募集人数	応募人数	参加者数	延参加数	連携・共催（特記事項）
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	横越地区昔話語り部養成講座 part3	昔話を通して，地域の方言・生活文化を伝え，一層の文化・伝統の醸成を図る	130	112	1	総合	12	午前	5～10月 第2.4土	20	19	19	130	横越昔話語り部サークル 企画会議3回，16人
	2	婚活「蕎麦打ち体験」	少子・高齢化が大きな社会課題と成っている中，地元で収穫された蕎麦粉を使い「そば打ち体験」を通して男女の出会いの機会を提供する	－	－	1	成人	1	午前・午後	11月	24	54	23	23	横越コミュニティ協議会 企画会議6回・24人
	3	横越地区親善スポーツ大会	ソフトバレーボールを通じて，地域の連帯意識の向上と親睦を図る	－	3	1	総合	1	午前・午後	7月	－	110	110	110	横越コミュニティ協議会，横越スポーツ振興会，自治会 企画会議1回・6人
	4	よこごしふれあいウォーク2018※台風の影響により中止	横越地区内のポイントをつなぐウォークにより，地域を知りながら親睦を図る	65	59	1	総合	0	午前・午後	9月（中止）	－	－	－	－	横越コミュニティ協議会，横越地区青少年育成協議会，自治会 企画会議1回・7人
	5	文化祭	横越地域で活動している市民の作品展示およびイベント	198	194	1	総合	1	午前・午後	11月	－	－	450	450	
	6	新春俳句大会	発表会と親睦を兼ねた俳句会	15	27	1	成人	1	午前	1月	－	21	21	21	
	7	実用小筆教室	普段使いの小筆を使った書道教室	0	43	1	成人	3	午後	3月	20	35	22	63	
2. 学・社・民の融合による人づくり，地域づくりを推進する事業	8	地下道清掃	横越出張所付近の地下道，街灯を中学生を中心に，小学生や教員・保護者及び近隣住民で清掃する。	－	－	1	総合	1	午前	10月	－	－	98	98	横越小・中学校，横越コミュニティ協議会，JA
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	9	乳児期家庭教育学級【ゆりかご学級3期】	乳児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	178	180	1	成人	5	午前	10月	30	21	19	92	
	9−1	乳児期家庭教育学級【ゆりかご学級3期】 保育	乳児期家庭教育学級　保育	－	－	1	成人	5	午前	10月	20	20	19	92	
	10	幼児期家庭教育学級	幼児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	113	104	1	成人	5	午前	8～10月	20	18	18	60	企画会議2回・6人
	10－1	幼児期家庭教育学級　保育	幼児期家庭教育学級　保育	－	－	1	成人	4	午前	8・9月	16	15	15	42	
	11	児童期・思春期家庭教育学級	児童期・思春期の子どもの発達や親子のコミュニケーションの重要性・スキルを学ぶ	107	54	1	成人	2	午前	12月	30	23	23	27	
						1		2		3月	30	12	12	16	
	11−1	児童期・思春期家庭教育学級　保育	児童期・思春期家庭教育学級　保育	－	－	1	成人	2	午前	12月	12	2	2	3	
						1		2		3月	12	3	3	5	
	12	子育てひろば	乳幼児の親子の仲間づくり，情報交換，親子遊び，絵本の読み聞かせ	80	76	1	成人	22	午前	毎月 第1.3火	－	－	221	221	
4. 青少年の生きる力を育む事業	13	子ども体験活動	小学生対象の夏・冬休み時に実施する体験事業	116	99	1	少年	3	午前・午後	7・8月	40	59	55	95	横越コミュニティ協議会，新潟大学,横越中学校
						1		1		12月	40	51	37	37	
	14	夏・冬・春学習室開放	長期休暇中の小・中・高校生対象に学習室を開放	－	－	1	青少年	60	午前・午後	7・8月 12・3月	－	－	272	272	
	15	夏休み子ども映写会	DVD上映	－	－	1	総合	1	午前	8月	－	－	75	75	
	16	春休み子ども映写会	DVD上映	－	－	1	総合	1	午前	3月	－	－	74	74	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	17	いきいきセミナー	生きがいと教養を身につける高齢者対象の講座	73	71	1	高齢者	8	原則午前	6～12月 第4木	25	27	25	243	医療福祉大学
	18	らくらくスマホ教室	スマートフォンの使い方を学び災害伝言板の使い方や振り込め詐欺の被害にあわないための対策等を学ぶ	－	－	1	高齢者	4	午前 午後	12月～1月	20	20	78	78	NTTドコモショップ亀田店
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	19	女性セミナー	男女の役割を見直し，生活技術を身につける。地域の仲間づくり推進とコミュニケーション能力を身につける	141	21	1	成人	3	午前	2・3月	20	11	11	27	
合　計				1,216	1,043	25	―	150	―	―	379	521	1,702	2,354	

資料２－１

平成30年度事業評価シート（亀田地区公民館）	総事業数（24）	1. コミュニティ（5）　2. 学社民（4）　3. 家庭教育（9）　4. 青少年（3）　5. 高齢者（1）　6. 現代的課題（2）　7. その他（3）

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業			
事業数	5 事業	・お亀楽縁 ・コミュニティコーディネーター育成講座（CC育成講座） ・茶の間の学校 ・活動協力員実施事業 ・夏休みお楽しみ会		
ねらい	地域課題・社会的課題をテーマに地域住民等による学習機会を提供し、地域コミュニティづくりの推進と人材育成の支援を行う。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	―	―	
	企画委員希望者数		―	
	受講者の満足度（平均値）	80%	93%	お亀楽縁以外
	受講者の気づき（平均値）	80%	93%	お亀楽縁以外
	その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）	3.6	当初の役割を終えたお亀楽縁は廃止	
	有効性（平均値）	3.8	CC養成講座は今後の事業展開が期待される	
	効率性（平均値）	3.4	他の事業、事業主体に移行できるものは統合・廃止	
評点区分	4 適切・十分　3 概ね適切・十分　2 やや不適切・不十分　1 不適切・不十分			
改善点	当初の役割を終えたお亀楽縁は茶の間の学校の開催を経て廃止し、コミュニティコーディネーター育成講座は江南区地域総務課、社会福祉協議会との連携により実施する。			
館長評価	A	B	C	D
	1	1		3
	<コメント> 区との連携など地域のニーズを丁寧に聴き取りながら人材育成を進めてほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業			
事業数	4 事業	・子ども夏まつりinKAMEDA ・ふれあいスクール（亀中） ・ふれあいスクール（大淵小） ・ふれあいスクール（亀小）		
ねらい	学・社・民の総合連携により、豊かな人間性を培い、地域教育力の向上を支援する。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	―	―	
	企画委員希望者数		2	ふれあいスクール（亀中）
	受講者の満足度（平均値）	80%	99%	ふれあいスクール
	受講者の気づき（平均値）	80%	82%	ふれあいスクール
	その他成果（品）及びその活用等			（亀小）制作作品を卒業式に展示 （大淵）児童に指導助手
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）	3.8	育成協、学校との連携は今後も必要である	
	有効性（平均値）	4	連携先の目的を共有した事業企画を更に検討する	
	効率性（平均値）	3.8	各種団体との連携により効率的な事業となった	
評点区分	4 適切・十分　3 概ね適切・十分　2 やや不適切・不十分　1 不適切・不十分			
改善点	連携先と実施後の振り返りを行うことで、企画や実施方法などを改善し、より効果的な事業実施につなげる。			
館長評価	A	B	C	D
		4		
	<コメント> 学校や育成協との連携により効果的な事業を実施することができるが、改めて事業目的などを連携先と確認する中で事業に取り組んでほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	3. 家庭の教育力の向上を支援する事業			
事業数	9 事業	・家庭教育学級（5） 〈プレ、乳児2、児童、父親〉 ・家庭教育講演会 ・情報誌発刊　・子育てサロン ・おはよう朝ごはん料理講習会（1）		
ねらい	家庭教育の自主性を尊重しながら、乳児期・幼児期・児童期等の子を持つ親に学習機会を提供するとともに仲間づくりの支援を行う。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	-	2	ゆりかご学級（乳児期）
	企画委員希望者数		5	児童（2）、父親（3）
	受講者の満足度（平均値）	80%	96%	全家庭教育学級
	受講者の気づき（平均値）	80%	91%	全家庭教育学級
	その他成果（品）及びその活用等			ゆりかご学級（文集作成） 子育て情報を発刊
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）	3.7	特に家庭教育学級の満足度は高く、企画委員の希望も多い	
	有効性（平均値）	3	家庭教育講演会の土日の出前型実施は効果的であった	
	効率性（平均値）	3.5	区健康福祉課や社会福祉協議会など連携を考える	
評点区分	4 適切・十分　3 概ね適切・十分　2 やや不適切・不十分　1 不適切・不十分			
改善点	区内公民館での家庭教育学級（連続講座）について、全体的な実施の検討が必要である。今後は、より効果的な実施に向けた連携先の模索が必要である。			
館長評価	A	B	C	D
	2	3	1	1
	<コメント> 講座の企画に限らず運営方法などについても、企画委員や地域住民の意見を取り入れながら実施してほしい。 また、積極的に他の所属や団体との協働を取り入れてほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	4 事業	・中高生向け学習室 ・学習室【夏休み・春休み】 （音楽室開放含む） ・子ども体験事業 ・わくわくキッズスクール（夏・春）		
ねらい	体験学習を通した異学年交流を積極的に展開し、青少年の健全育成を図る。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	―	―	
	企画委員希望者数		―	
	受講者の満足度（平均値）	80%	97%	子ども体験
	受講者の気づき（平均値）	80%	97%	子ども体験
	その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）	3.5	学校、家庭ではできない体験は今後も継続が必要である	
	有効性（平均値）	3.8	多世代交流の機会となった	
	効率性（平均値）	3.8	インターンシップの学生による実施は互いに効果的だった	
評点区分	4 適切・十分　3 概ね適切・十分　2 やや不適切・不十分　1 不適切・不十分			
改善点	インターンシップなど学生との事業について、今後は互いのスケジュールの共有、役割の明確化、経験の蓄積により、さらに効果的な実施にする必要がある。			
館長評価	A	B	C	D
		3	1	
	<コメント> 大学生の協力により事業に幅が出ている。また、学生にとっての経験の場、子どもにとって世代交流の場、公民館にとっては今後の人材育成の場になるよう、今後の取り組みに期待します。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業
事業数	1 事業 ・福寿大学	2 事業 ・芸術に親しむセミナー ・たまてKOBU（文化会館合同）
ねらい	超高齢化社会を迎える中で、高齢者自らが生きがいや教養を身につけ地域社会に共存できるよう支援する。	暮らし、生きがいをテーマに講座を実施し、これからの生きがいづくりを支援する。また、複合施設の特性を活かし世代間交流や仲間づくりの場を提供する。

成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	—	—		サークル結成数	—	1	芸術に親しむセミナー
	企画委員希望者数		—		企画委員希望者数		—	
	受講者の満足度（平均値）	80%	—	アンケート未実施	受講者の満足度（平均値）	80%	100%	芸術に親しむセミナー
	受講者の気づき（平均値）	80%	—	アンケート未実施	受講者の気づき（平均値）	80%	100%	芸術に親しむセミナー
	その他成果（品）及びその活用等				その他成果（品）及びその活用等			芸術に親しむセミナー（実践高座開催）

評点		評点	コメント		評点	コメント
	必要性（平均値）	2	高齢者の学び、つながる場として今後も必要である	必要性（平均値）	4	利用者拡大、仲間づくりの場として必要である
	有効性（平均値）	2	自主運営に向けて支援していく	有効性（平均値）	4	施設の可能性を今後も求めていきたい
	効率性（平均値）	3	運営委員による実施	効率性（平均値）	3.5	連携先との役割の明確化など検討していきたい
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分		

改善点	超高齢化社会の現在、福寿大学は必要な事業であると考えるが、実施形態において自主運営など運営委員と積極的に検討する必要がある。	多種多様な利用者が訪れる複合施設の特性を活かし、相互利用につなげる必要がある。

館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
			1			1		1

館長評価 <コメント>（5）: 学習の場、仲間づくりの場として、貴重なものであるが。今後は自主運営に切り替えられるよう支援をしてほしい。（2020をもって廃止）

館長評価 <コメント>（6）: 複合館の可能性は、引き続き、連携先との振り返りを活かすなど、次回の実施につなげてほしい。

評価区分: A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止

江南区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】
1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】
1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】
1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

A 事業の拡大
B 現行どおり（事業の見直しを含む）
C 事業の縮小
D 事業の廃止

資料２－１－２

平成30年度事業評価シート（大江山公民館）

総事業数（2）	1. コミュニティ（2） 2. 学社民（0） 3. 家庭教育（0） 4. 青少年（0） 5. 高齢者（0） 6. 現代的課題（0） 7. その他（1）

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業			
事業数	2 事業	・大江山地域学事業 ・大江山の昔話を学ぼう		
ねらい	地域の歴史を見つめ直すことで、地域の宝を再発見し、後世への継承と地域活性化を図る。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	－	－	
	企画委員希望者数		－	
	受講者の満足度（平均値）	80%	90%	
	受講者の気づき（平均値）	80%	88%	
	その他成果（品）及びその活用等			次年度以降昔語り用冊子を作製予定
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）	4	積極的な学習成果の活用	
	有効性（平均値）	4	地域の活性化につながる取り組みである	
	効率性（平均値）	4	運営委員が機能している	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	地域住民が自らの地域の歴史などを学ぶ機会として、非常に有効な講座であることから、今後は、この学習成果をいかに後世へ継承し、地域の活性化につなげることができるかを検討する。 冊子作製までの継続的な支援を検討する。			
館長評価	A	B	C	D
		2		
	＜コメント＞ いずれの事業も地域を学ぶ良い機会であるため、学びの循環など、いかに地域に学習成果を活かすかを検討してほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業			
事業数	事業			
ねらい				
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	－		
	企画委員希望者数			
	受講者の満足度（平均値）	80%		
	受講者の気づき（平均値）	80%		
	その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）			
	有効性（平均値）			
	効率性（平均値）			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点				
館長評価	A	B	C	D
		3		
	＜コメント＞			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	3. 家庭の教育力の向上を支援する事業			
事業数	事業			
ねらい				
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	有		
	企画委員希望者数			
	受講者の満足度（平均値）	80%		
	受講者の気づき（平均値）	80%		
	その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）			
	有効性（平均値）			
	効率性（平均値）			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点				
館長評価	A	B	C	D
	＜コメント＞			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	事業			
ねらい				
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	－		
	企画委員希望者数			
	受講者の満足度（平均値）	80%		
	受講者の気づき（平均値）	80%		
	その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）			
	有効性（平均値）			
	効率性（平均値）			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点				
館長評価	A	B	C	D
	＜コメント＞			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業			
事業数	事業				事業			
ねらい								
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	ー			サークル結成数			
	企画委員希望者数				企画委員希望者数			
	受講者の満足度（平均値）	80%			受講者の満足度（平均値）	80%		
	受講者の気づき（平均値）	80%			受講者の気づき（平均値）	80%		
	その他成果（品）及びその活用等				その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性（平均値）				必要性（平均値）			
	有効性（平均値）				有効性（平均値）			
	効率性（平均値）				効率性（平均値）			
評点区分	4 適切・十分　3 概ね適切・十分　2 やや不適切・不十分　1 不適切・不十分				4 適切・十分　3 概ね適切・十分　2 やや不適切・不十分　1 不適切・不十分			
改善点								
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
	＜コメント＞				＜コメント＞			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】
1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的、成果から見て、対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合、支障がある

【有効性】
1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために、事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】
1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

A 事業の拡大
B 現行どおり（事業の見直しを含む）
C 事業の縮小
D 事業の廃止

資料２－２

平成30年度事業評価シート（曽野木地区公民館

総事業数（ 21 ） 1. コミュニティ（1） 2. 学社民（4） 3. 家庭教育（4） 4. 青少年（6） 5. 高齢者（1） 6. 現代的課題（3） 7. その他（2）

区分																
重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業				2. 学・社・民の融合による人づくり，地域づくりを推進する事業				3. 家庭の教育力の向上を支援する事業				4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	1事業	地域の絆1			4事業	出前講座4			4事業	家庭教育学級2・サロン1・保育者交流1			6事業	体験活動4・居場所1・学習室1		
ねらい	地域コミュニティの活性化を図るために地域住民と連携し、地域の人を元気にする事業を展開する。				学校と連携した事業を開催することで地域の人が学校に親しみをもち、学校ボランティアにかかわるきっかけをつくることを目指す。				乳幼児の子どものこころと身体の成長発達を学びながら同世代の子どもを持つ親同士交流を深め、子育てについての不安や悩みを軽減するとともに、人とつながり仲間をつくる機会となるよう支援する。				様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かなこころを育むための事業を展開する。また、異年齢や他校の子どもたちとの交流の場になるよう支援する。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数				サークル結成数				サークル結成数	有	1	ゆりかご学級からサークル	サークル結成数			
	企画委員希望者数		10	まなびやサロンの企画委員が10人	企画委員希望者数				企画委員希望者数		4	幼児期家庭教育学級の企画委員が4人	企画委員希望者数			
	受講者の満足度（平均値）	80%		アンケート未実施	受講者の満足度（平均値）	80%	97%	曽野木中と曽野木小での開催は満足度100%	受講者の満足度（平均値）	80%	94%	幼児期の満足度は高く100%であった。	受講者の満足度（平均値）	80%		アンケート未実施
	受講者の気づき（平均値）	80%		アンケート未実施	受講者の気づき（平均値）	80%	80%	学校のボランティアになってくれる人がいた。	受講者の気づき（平均値）	80%	81%	学習意欲が高くサークルになった。	受講者の気づき（平均値）	80%		アンケート未実施
	その他成果（品）及びその活用等				その他成果（品）及びその活用等				その他成果（品）及びその活用等				その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント			評点	コメント	
	必要性（平均値）	4	多世代交流ができるような事業を開催していく必要がある。		必要性（平均値）	4	学校との連携事業は今後も必要		必要性（平均値）	3.8	意図したことが十分結果に結びついている。		必要性（平均値）	3.8	意図したことが十分結果に結びついている。	
	有効性（平均値）	4	学校・地域と一緒になって行っている地域づくりのための事業。		有効性（平均値）	4	地域のつながりができ、満足度も97%と高評価。		有効性（平均値）	3.3	達成度は満足いく結果であり、継続して実施することが必要。		有効性（平均値）	3.5	子ども吹き矢大会は、初めての開催だったが好評だった。	
	効率性（平均値）	4	すべて適当だった。		効率性（平均値）	4	適当だった。		効率性（平均値）	4	適当だった。		効率性（平均値）	4	適当だった	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分				4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	・60代の男性がひとりスタッフになったが、全体をみるとスタッフの高齢化が進んでいる。新しいスタッフを増やし、自主的に運営していけるよう助言・指導をしていく。				今年は曽野木小学校・東曽野木小学校・曽野木中学校と連携し会場も学校で開催。その後学校ボランティアとして活動してくれる人もいるがもう少しボランティアを増やしていきたい。				応募者が定員を大幅に超えてしまうほど必要とされている講座である。なんとか一人でも多くの人から学んでいただきたいので事業費を増やしてほしい。				子ども事業は、公民館活動協力員とボランティアスタッフの人の力を借りて開催されている。地域の人など子どもを見守ってくれる人材の育成が必要である。特にきもだめし大会は沢山のボランティアさんの協力が不可欠。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				2		2		4				6		
	＜コメント＞この事業は、沢山の地域の人に理解と協力をいただき開催されている。この事業を楽しみにしてくれている人が多くいる。あと数年で地域のみなさんが自立し開催できるよう指導していきたい。				＜コメント＞4事業、小学校・中学校で開催できたことは一歩前進した。さらに、学校のボランティア活動もしたいと申し出て下さった方もいた。小・中学校の教育コーディネーターの方の協力をいただき実現した。				＜コメント＞家庭教育学級は、公民館の事業の中でも大切な事業になっている。子どもの発達の特徴を学んだり、親の不安を少しでも軽くしたりする学習である。初めて親になる人のために今後も開催していかなければならない事業である。				＜コメント＞定番のきもだめし大会は年々参加者が増えている。子どもたちに喜んでもらえる事業を今後も企画をしていきたい。			
評価区分	Ａ 事業拡大・Ｂ 現行どおり（見直し含む）・Ｃ 事業縮小・Ｄ 事業廃止				Ａ 事業拡大・Ｂ 現行どおり（見直し含む）・Ｃ 事業縮小・Ｄ 事業廃止				Ａ 事業拡大・Ｂ 現行どおり（見直し含む）・Ｃ 事業縮小・Ｄ 事業廃止				Ａ 事業拡大・Ｂ 現行どおり（見直し含む）・Ｃ 事業縮小・Ｄ 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業			
事業数	1事業	高齢者いきいきセミナー		
ねらい	健康でいきいきと暮らすための生きがいを見つけ、楽しい毎日を過ごすためのきっかけづくりとする。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数	有	1	
	企画委員希望者数			
	受講者の満足度(平均値)	80%	92%	満足度は93%と高かった。
	受講者の気づき(平均値)	80%	68%	楽しく身体を動かすことができ好評だった。
	その他成果(品)及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性(平均値)	3	意図したことが十分結果に結びついている。	
	有効性(平均値)	4	参加者の満足度は高かった。	
	効率性(平均値)	4	適当だった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	自主サークル化を目指したが、人数が集まらなかった。しかし、継続したいという人も5～6人いたので今後人数を増やし自主サークルにしたい。			
館長評価	A	B	C	D
		1		
	<コメント>楽しく身体を動かすことができ、参加者は大満足だった。来年度もう一度3B体操を計画し3B体操の楽しさを知ってもらう。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	6. 現代的課題を探り，解決を支援する事業			
事業数	3事業	人権講座1・市民学級1・おやこ遊び1		
ねらい	様々な市民のニーズに応えるために多種多様な事業を展開する。必要課題と要求課題をきちんと把握し、市民にとってより良い事業を実施する。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			
	企画委員希望者数			人権講座に8人 市民学級に5人
	受講者の満足度(平均値)	80%	88%	3事業とも満足度は高かった。
	受講者の気づき(平均値)	80%	81%	参加したことで沢山の気づきがあった。
	その他成果(品)及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性(平均値)	3	意図したことが十分結果に結びついている。	
	有効性(平均値)	3.3	お互い尊重し楽しく学ぶことができた。	
	効率性(平均値)	4	適当だった。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	男性の参加が多い講座ではあるが、まだまだ少ない。なんとか男女の割合が半分半分になるような企画ができるようにしたい。			
館長評価	A	B	C	D
		2		1
	<コメント>今年の人権講座は、子どもの虐待について学んだ。虐待について詳しい黒川先生にお越しいただくことができ現状を知ることができた。地域の子どもたちを見守る目が変わりますとの感想をいただいた。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】
1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的，成果から見て，対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合，支障がある

【有効性】
1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために，事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】
1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価
- A 事業の拡大
- B 現行どおり(事業の見直しを含む)
- C 事業の縮小
- D 事業の廃止

資料２－２－２

平成30年度事業評価シート（両川公民館）

総事業数（ ２ ）	1. コミュニティ（ ） 2. 学社民（ ） 3. 家庭教育（ ） 4. 青少年（ ） 5. 高齢者（ ） 6. 現代的課題（1） 7. その他（1）

重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業			
事業数	事業			
ねらい				
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			
	企画委員希望者数			
	受講者の満足度（平均値）	80%		
	受講者の気づき（平均値）	80%		
	その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）			
	有効性（平均値）			
	効率性（平均値）			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点				
館長評価	A	B	C	D
	＜コメント＞			
評価区分	Ａ 事業拡大・Ｂ 現行どおり（見直し含む）・Ｃ 事業縮小・Ｄ 事業廃止			

重点名	2. 学・社・民の融合による人づくり，地域づくりを推進する事業			
事業数	事業			
ねらい				
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			
	企画委員希望者数			
	受講者の満足度（平均値）	80%		
	受講者の気づき（平均値）	80%		
	その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）			
	有効性（平均値）			
	効率性（平均値）			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点				
館長評価	A	B	C	D
	＜コメント＞			
評価区分	Ａ 事業拡大・Ｂ 現行どおり（見直し含む）・Ｃ 事業縮小・Ｄ 事業廃止			

重点名	3. 家庭の教育力の向上を支援する事業			
事業数	事業			
ねらい				
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			
	企画委員希望者数			
	受講者の満足度（平均値）	80%		
	受講者の気づき（平均値）	80%		
	その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）			
	有効性（平均値）			
	効率性（平均値）			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点				
館長評価	A	B	C	D
	＜コメント＞			
評価区分	Ａ 事業拡大・Ｂ 現行どおり（見直し含む）・Ｃ 事業縮小・Ｄ 事業廃止			

重点名	4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	事業			
ねらい				
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			
	企画委員希望者数			
	受講者の満足度（平均値）	80%		
	受講者の気づき（平均値）	80%		
	その他成果（品）及びその活用等			
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）			
	有効性（平均値）			
	効率性（平均値）			
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点				
館長評価	A	B	C	D
	＜コメント＞			
評価区分	Ａ 事業拡大・Ｂ 現行どおり（見直し含む）・Ｃ 事業縮小・Ｄ 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	6. 現代的課題を探り，解決を支援する事業
事業数	事業	1事業　両川元気塾
ねらい		様々な市民のニーズに応えるために多種多様な事業を展開する。必要課題と要求課題をきちんと把握し、市民にとってより良い事業を実施する。

成果	目標値	結果	コメント	目標値	結果	コメント
サークル結成数						
企画委員希望者数	／			／		
受講者の満足度(平均値)	80%			80%	100%	3B体操は楽しくやれて好評だった。
受講者の気づき(平均値)	80%			80%	82%	健康の大切さを学んだ。
その他成果（品）及びその活用等	／			／		

評点	評点	コメント	評点	コメント
必要性（平均値）			3	両川で事業を開催しても参加者が少ないが継続が大切。
有効性（平均値）			4	達成度は高かった。
効率性（平均値）			4	適当だった。
評点区分	４適切・十分　３概ね適切・十分　２やや不適切・不十分　１不適切・不十分		４適切・十分　３概ね適切・十分　２やや不適切・不十分　１不適切・不十分	

改善点		両川の人たちが参加しやすい事業の内容を考え参加者をもっと増やしたい。

館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
						1		
	＜コメント＞				＜コメント＞両川公民館での開催は参加が少ないが、内容によっては参加者の増が見込まれるので来年度も地域の要望を聞き内容を検討したい。			
評価区分	Ａ事業拡大・Ｂ現行どおり（見直し含む）・Ｃ事業縮小・Ｄ事業廃止				Ａ事業拡大・Ｂ現行どおり（見直し含む）・Ｃ事業縮小・Ｄ事業廃止			

江南区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】
1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的，成果から見て，対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合，支障がある

【有効性】
1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために，事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】
1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

Ａ　事業の拡大
Ｂ　現行どおり（事業の見直しを含む）
Ｃ　事業の縮小
Ｄ　事業の廃止

資料２－３

平成30年度事業評価シート（横越地区公民館）

総事業数（ 19 ）	1. コミュニティ（7） 2. 学社民（1） 3. 家庭教育（4） 4. 青少年（4） 5. 高齢者（2） 6. 現代的課題（1） 7. その他（ ）

区分				
重点名	1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業			
事業数	7事業	地域学・スポーツ大会・ふれあいウォーク等		
ねらい	地域団体・地域住民と共に学習機会やイベント等を開催することにより，地域コミュニティづくりの推進の機会とする。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			
	企画委員希望者数	／	3	各種イベントは，打ち合わせ会議を開催し，実施地域学　3名
	受講者の満足度（平均値）	80%	90	地域学の満足度
	受講者の気づき（平均値）	80%	85	地域学の気づき
	その他成果（品）及びその活用等	／		地域団体との連携が良く行われている。
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）	4	地域行事として定着して来ている。	
	有効性（平均値）	4	地域団体の連携に繋がっている。	
	効率性（平均値）	4	最小限の経費で実施した。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	自治会・コミュニティ協議会・スポーツ振興会・青少年育成協議会・地域団体等との連携事業として実施しているが、今以上の連携を深め有意義な事業として行きたい。			
館長評価	A	B	C	D
		7		
	＜コメント＞地域行事として定着してきていることから，今以上のコミュニティ活性化に向け，各種地域団体と連携し継続する。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

区分				
重点名	2. 学・社・民の融合による人づくり，地域づくりを推進する事業			
事業数	1事業	地下道清掃		
ねらい	学・社・民の相互の連携及び協力により、地域環境美化の意識を醸成すし。小中学生のボランティア意識の向上を図る。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			
	企画委員希望者数	／	0	打合せ会議を実施
	受講者の満足度（平均値）	80%	90	
	受講者の気づき（平均値）	80%	80	
	その他成果（品）及びその活用等	／		小・中学校、コミュニティ協議会、自治会、JAの協力により実施
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）	4	公民館事業として必要である。	
	有効性（平均値）	4	達成度は満足できる。	
	効率性（平均値）	4	最小限の経費で実施した。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	中学生及び小・中学校の先生方の参加がおおいのですが、小学生の参加がすくないことから、PTA等の協力を得て今以上の「ぴかぴか大作戦」したい。			
館長評価	A	B	C	D
		1		
	＜コメント＞多くの地域団体と連携して実施しているが、他に協力してくださる団体があれば、広く呼びかけて実施する。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

区分				
重点名	3. 家庭の教育力の向上を支援する事業			
事業数	4事業	家庭教育学級(3)子育て広場(1)		
ねらい	家庭教育の重要性・必要性を学ぶと伴に，子育て中の保護者の仲間つくりの機会と情報提供で子育て支援を実施する。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数		1	ゆりかご学級
	企画委員希望者数	／	4	幼児期家庭教育学級
	受講者の満足度（平均値）	80%	95	満足度は高い。
	受講者の気づき（平均値）	80%	93	講座内容が良かったと考えられる。
	その他成果（品）及びその活用等	／		自主サークルが結成されたが，その後フォロアップが大切になる。
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）	4	公民館事業として必要である。	
	有効性（平均値）	4	達成度は満足できる。	
	効率性（平均値）	4	最小限の経費で実施した。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	市民による企画委員会の要求課題をプログラムに取り入れることにより，満足度の高い事業が展開されているし，自主グループも出来ていることから，満足しているが，毎年，同じ講師になりがちなので，新たな講師の発掘し実施する。			
館長評価	A	B	C	D
		4		
	＜コメント＞発達段階に応じ家庭教育を学ぶ場は、公民館しかないことから、今以上に市民の声を反映させた学習機会の提供を行ってゆきたい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

区分				
重点名	4. 青少年の生きる力を育む事業			
事業数	4事業	体験活動(1)映写会(1)学習室開放(1)		
ねらい	青少年の健全育成を図ると伴に，体験活動をとおし異学年の交流を深める機会とする。			
成果		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			
	企画委員希望者数	／	0	各事業打ち合わせ会議を実施
	受講者の満足度（平均値）	80%	100	新たな体験及び異学年の交流が行えた。
	受講者の気づき（平均値）	80%	100	
	その他成果（品）及びその活用等	／		新潟大学工学部のサイエンスサーカス・小学校教諭による科学実験等、学校では出来ないことを実施した。
評点		評点	コメント	
	必要性（平均値）	4	公民館事業として必要である。	
	有効性（平均値）	4	達成度は満足できる。	
	効率性（平均値）	4	最小限の経費で実施した。	
評点区分	4 適切・十分 3 概ね適切・十分 2 やや不適切・不十分 1 不適切・不十分			
改善点	学校で体験出来ない事をプログラムに取り入れ，地域住民を講師に招いたり、地域とのふれあいも大切にしてほしい。			
館長評価	A	B	C	D
		4		
	＜コメント＞参加者アンケートによると多くの子ども達が科学実験を希望していることから、色んな事にチャレンジ出来るプログラムで実施したい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり（見直し含む）・C 事業縮小・D 事業廃止			

重点名	5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業				6. 現代的課題を探り，解決を支援する事業			
事業数	2事業	いきいきセミナー			1事業	女性講座・地下道清掃ほか		
ねらい	高齢者を対象に，生きがいと教養を身につけると伴に，講座で得た知識や生き方などを地域社会に役立てる機会とする。				現代課題である地域課題及び人権問題等をテーマに学習機会を提供し，受講生がともに考える機会とする。			
成果		目標値	結果	コメント		目標値	結果	コメント
	サークル結成数			参加者が自ら学ぼうとする自主性を育てることが必要である。	サークル結成数			
	企画委員希望者数		4		企画委員希望者数		0	
	受講者の満足度(平均値)	80%	100	興味のあるプログラムでしたので、満足度が高かった。	受講者の満足度(平均値)	80%	100	
	受講者の気づき(平均値)	80%	100	興味のあるプログラムでしたので、満足度が高かった。	受講者の気づき(平均値)	80%	87	
	その他成果(品)及びその活用等			新潟医療福祉大学との地域還元事業を実施し大学生と高齢者とのふれあいが有り、好評であった。	その他成果(品)及びその活用等			
評点		評点	コメント			評点	コメント	
	必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。		必要性(平均値)	4	公民館事業として必要である。	
	有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。		有効性(平均値)	4	達成度は満足できる。	
	効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。		効率性(平均値)	4	最小限の経費で実施した。	
評点区分	4 適切・十分　3 概ね適切・十分　2 やや不適切・不十分　1 不適切・不十分				4 適切・十分　3 概ね適切・十分　2 やや不適切・不十分　1 不適切・不十分			
改善点	昨年度は、2ヶ月間に実施したため不評の面があったが今年度は、長期間に渡り月の回数を少なくしたことが、喜ばれたようだ。新たな現代的課題も取り入れて実施してほしい。				男女共同参画の視点・人権問題についての内容で実施されなかったので、来年度は是非実施したい。			
館長評価	A	B	C	D	A	B	C	D
		1				5		
	<コメント>地域住民から人気のある講座であることから、要求課題を取り入れるのでなく、必要課題も取り入れたプログラム作りを行ってほしい。				<コメント>他の公民館やアルザにいがたの女性セミナーの見学等、男女共同参画社会の推進の視点を取りいれてプログラムを作成してほしい。			
評価区分	A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止				A 事業拡大・B 現行どおり(見直し含む)・C 事業縮小・D 事業廃止			

〇〇区運営審議会委員意見

●評価の観点

【必要性】
1. 意図することが結果に結び付いている
2. 事業の目的が教育ビジョンや公民館の基本方針等に合致している
3. 市が税金をかけて行う必要がある
4. 事業の目的，成果から見て，対象や事業の狙いを見直す必要はない
5. この事業を廃止した場合，支障がある

【有効性】
1. 達成度は満足できる
2. 成果指標の目標値を達成するために，事業内容や集団は適当だった
3. 他機関との連携が図られている

【効率性】
1. この事業の成果に費やした労力は適当だった
2. この事業の成果に費やした時間は適当だった
3. この事業の成果に費やした事業費は適当だった
4. 参加者の実費負担額は適当だった

●館長評価

A 事業の拡大
B 現行どおり(事業の見直しを含む)
C 事業の縮小
D 事業の廃止

資料３－１

令和元年度　公民館事業計画

亀田地区公民館

〔R01.06.06現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30予算（千円）	H31予算（千円）	開設数	対象	回数	時間	実施予定月	募集人数	連携・共催（特記事項）
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	コミュニティ・コーディネーター育成講座	地域の課題解決に対する取り組みの中心的役割を担うコミュニティ・コーディネーターを育成「防災」をテーマにした講座とフィールドワーク	180	180	1	成人	3	午後	8～9月	30	江南区地域総務課 NPO法人プラスアーツ 曽野木・横越地区公民館
	[redacted]	地域連携事業	誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、地域の大人や子どもの学習、体験活動を通して地域愛の醸成、世代間交流	0	50	1	総合	1	午前 午後	未定	未定	※地域団体との連携により実施
2. 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりを推進する事業	3	子ども夏まつり in KAMEDA	亀田地区青少年育成協議会と連携し科学に関する工作体験活動	―	―	1	少年	1	午後	8月	―	亀田地区青少年育成協議会 ※育成協予算
	4	学校連携事業	学校へ出向き、空き教室等を利用した講座	59	65	3	総合	3	午前	未定	未定	地域教育コーディネーター
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	[redacted]	プレママパパ講座 【安産教室連携】	妊娠中の親が安心して子育てができるための講座	31	32	4	成人	4	午前	6.9.12 3月	30	江南区健康福祉課
	6	乳児期家庭教育 【ゆりかご学級2期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う講座	171	196	1	成人	5	午前	6～7月	30	
			保育	―	―	1	乳児	5	午前	6～7月	20	
	[redacted]	乳児期家庭教育 【ゆりかご学級2期】 ～特別編～	上記講座の父親参加型	―	13	1	成人	1	午前	7月	40	
	8	乳児期家庭教育 【ゆりかご学級4期】	乳児期の家庭教育における課題を学び合う講座	175	196	1	成人	5	午前	1～2月	30	
			保育	―	―	1	乳児	5	午前	1～2月	20	
	[redacted]	乳児期家庭教育 【ゆりかご学級4期】 ～特別編～	上記講座の父親参加型	―	14	1	成人	1	午前	2月	40	
	10	家庭教育講演会	公民館出前講座 （学校・コミ協・保育園・企業等と連携実施）	109	60	5	成人	5	午前 午後 夜間	6～3月	未定	亀田コミュニティセンター、大江山コミュニティ協議会、亀田商工会議所、亀田東児童館
	11	父親学級	父親の主体的な子育てを支援	34	27	1	成人	1	午前 午後	未定	20	
	12	カムかめねっと編集	子育て情報誌の編集	25	25	1	成人	未定	午後	通年	―	編集ボランティア（6人）
	13	プチプチひろば	0歳児と保護者のための居場所	13	12	1	総合	21	午前	通年	―	毎月第2・4火曜日開催 ボランティア（4人）
	14	おはよう朝ごはん料理講習会【早通小コミ協】	子どもたちの基本的生活習慣の形成と地域・家庭の教育力の向上及び地域づくり	―	―	1	総合	1	午前 午後	未定	未定	早通小学校区コミュニティ協議会・早通小学校 ※中央公民館予算
4. 青少年の生きる力を育む事業	15	中・高校生向け学習室	第2・第4土曜日に学習室を開放	1	3	1	少年	21	午前 午後	通年	―	
	16	学習室【夏休み・春休み】（音楽室解放含む）	夏休み、春休み期間中の学習室及び音楽室開放	0	2	3	少年	57	午前 午後	7～8月 3月	―	
	17	わくわくキッズスクール	学区を超えた参加者同士が運動や工作で交流する場を提供し、生きる力の向上につなげる事業	73	50	1	少年	1	午前	未定	30	新潟大学教育学部学生グループ「gakusya」
	18	子ども体験教室	ものづくりや各種体験を通じて、コミュニケーションの大切さなどを学ぶ教室	0	12	1	少年	1	午後	未定	15	新潟大学教育学部インターンシップ協力事業
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	19	福寿大学	高齢者の自主活動の支援、生きがいを見出す講座	110	80	7	高齢者	146	午前 午後	通年	―	福寿大学運営委員会
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	[redacted]	活動協力員実施事業 現代的課題に対応する事業	現代的課題の解決に向けた学習 ※活動協力員による企画実施事業	―	60	1	総合	3	午前	9～10月	25	亀田地区公民館活動協力員
7. その他	21	江南区文化会館合同事業 たまてKOBU	公民館・図書館・郷土資料館との連携事業を行うことで、利用者の拡大と交流を図る事業	18	25	1	総合	1	午前 午後	6月	―	江南区文化会館 亀田図書館 江南区郷土資料館
	22	かめだ音楽祭	合唱・演奏団体の発表会	30	30	1	総合	1	午前 午後	11月	―	かめだ音楽祭実行委員会 ※江南区地域総務課予算
	23	亀田地区市民文化展	作品展示・茶席ほか	120	119	1	総合	1	午前 午後	11月	―	亀田地区市民文化展実行委員会、江南区健康福祉課 ※江南区地域総務課予算
	24	公民館体験学習	亀田地区公民館利用サークルの体験学習	―	―	1	総合	未定	午前 午後 夜間	3月	未定	公民館利用団体
◎平成30年度終了事業	廃止	お亀楽縁、活動協力員実施事業、児童期家庭教育学級、芸術に親しむセミナー		178	―	―	―	―	―	―	―	
合　計				1,327	1,251	43	―	294	―	―	330	

大江山公民館

〔R01.06.06現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30予算（千円）	H31予算（千円）	開設数	対象	回数	時間	実施予定月	募集人数	連携・共催（特記事項）
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	大江山地域学習会	大江山地区の歴史を見つめ直すことで、地域の宝を再発見し、後世への継承と地域活性化を図る学習会	26	36	1	総合	1	午後	3月	50	大江山コミュニティ協議会 大江山地域学習会
	2	大江山の昔話を学ぼう	地域の昔話しの保存と活用を機に住民同士のコミュニケーションを図ることで、地域つながりの醸成、活性化につなげる講座	0	0	2	総合	2	午前	未定	10	大江山地区コミ協、丸山小、大渕小、大江山中 ※亀田の地域連携事業予算
7. その他	3	文化とスポーツの祭典	作品展示、芸能発表、各種スポーツ大会	―	―	1	総合	1	午前 午後	11月	―	大江山コミュニティ協議会
合　計				26	36	4	―	4	―	―	60	

資料３－２

令和元年度　公民館事業計画

曽野木地区公民館

〔R01.06.06現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30予算（千円）	H31予算（千円）	開設数	対象	回数	時間	実施予定月	募集人数	連携・共催（特記事項）
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	1	まなびやサロンそのき	健康・介護・福祉など個人や地域が抱える諸問題について学ぶ。子どもたちとおとなが一緒に楽しめる催しも年4から5回くらい入れていく。	49	73	1	総合	12	午前 午後	通年	－	社会福祉協議会・曽野木小教育コーディネーター・曽野木小PTA・公民館活動協力員
2. 学・社・民の融合による人づくり，地域づくりを推進する事業	2	おとなの雑学	小中学校の教育コーディネーターと協議し事業内容を決める。	38	30	1	総合	3	午前	通年	20	曽野木・東曽野木・両川小中学校教育コーディネーター
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	3	乳児期家庭教育学級（ゆりかご学級）Ⅰ期	乳児期のこころと身体の発達について考える。	191	161	1	成人	5	午前	5～6	30	
			保育			1	乳児	5	午前	5～6	20	
	4	幼児期家庭教育学級	幼児期のこころと身体の発達について考える。	159	189	1	成人	4	午前	6～7	30	企画委員（前年度受講生）
			保育者との情報交換			1	乳幼児	4	午前	6～7	20	
	5	子育てサロンぽっかぽか	親子の居場所と情報交換	0	0	1	成人	21	午前	毎月 第2.4 月曜日	－	
	6	保育者交流会	保育者との情報交換	0	0	1	成人	1	午前	8	－	
4. 青少年の生きる力を育む事業	7	そのキッズ	子どもきもだめし大会	10	17	1	少年	1	夜間	7	50	公民館活動協力員，教育コーディネーター、まなびやサロンそのきスタッフ
	8		工作・昔の暮らし体験			1	少年	1	午前	8	40	公民館活動協力員・教育コーディネーター
	9		夏休み子ども映写会	0	0	1	少年	2	午前	8	－	ひまわりクラブと協議
	10	子どもの居場所	小中高校生フリースペース	0	0	1	少年	347	午前 午後	通年	－	
	11	学習室開放事業	個人学習の支援	0	0	1	総合	347	午前 午後	通年	－	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	12	高齢者いきいきセミナー	高齢者がいきいきと楽しく学べるもの	69	38	1	高齢者	5	午前	9～10	40	公民館活動協力員
6. 現代的課題を探り，解決を支援する事業	13	そのき市民学級	現代的課題とタイムリーな話題を取り上げ学習する。	80	62	1	総合	7	午前 午後	6～12	100	そのき市民学級実行委員会
	14	共生セミナー	男女共同参画社会の実現に向けて自身の生き方を考え共に生きる社会の在り方を学ぶ。	126	181	1	成人	5	午前	9～10	30	企画委員（前年度受講生・公民館活動協力員）
			保育			1	乳幼児	5	午前	9～10	18	
7. その他	15	そのきミュージックフェスティバル	洋楽器、コーラスの発表（企画会議実施）	4	0	1	総合	1	午後	7	－	実行委員会
	16	曽野木地区文化祭	作品展示、チャリティバザー、音楽芸能発表会など	5	0	1	総合	1	午前 午後	10	－	実行委員会
合　計				731	751	19	－	777	－	－	398	

両川公民館

〔R01.06.06現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30予算（千円）	H31予算（千円）	開設数	対象	回数	時間	実施予定月	募集人数	連携・共催（特記事項）
4. 青少年の生きる力を育む事業	1	子ども体験教室	工作・レクリエーション・調理など	8	0	-	少年	-	-	-	-	
6. 現代的課題を探り，解決を支援する事業	2	両川元気塾	「60歳から始める元気」づくり	16	16	1	総合	2	午後	11～12	20	
7. その他	3	両川地区文化祭	作品展示、チャリティバザーなど	0	0	1	総合	1	午前 午後	11	－	利用団体連絡協議会
合　計				24	16	2	－	3	－	－	20	

資料３－３

令和元年度　公民館事業計画

横越地区公民館

〔R01.06.06現在〕

重点化	番号	事業名	事業内容	H30 予算 （千円）	H31 予算 （千円）	開設数	対象	回数	時間	実施 予定月	募集 人数	連携・共催 （特記事項）
1. 地域コミュニティ活動の活性化を支援する事業	[redacted]	横越嶋物語	横越地域の歴史・文化の掘り起こしと伝承のための講座	―	19	1	総合	3回	午前	5～6月	20	
	2	横越地区親善スポーツ大会	ソフトバレーボールを通じて、地域の連帯意識の向上と親睦を図る	―	―	1	総合	1	午前・午後	6月	―	横越コミュニティ協議会 横越スポーツ振興会 自治会
	3	よこごしふれあいウォーク2019	横越地区内のポイントをつなぐウォークにより、地域を知りながら親睦を図る	65	62	1	総合	1	午前・午後	9月	―	自治会、育成協 横越コミュニティ協議会
	4	文化祭	横越地域で活動している市民の作品展示およびイベント	198	193	1	総合	1	午前・午後	11月	―	
	5	新春俳句大会	発表会と親睦を兼ねた俳句会	15	15	1	成人	1	午前	1月	―	俳句サークル　かはづの会
3. 家庭における教育力向上を支援する事業	6	乳児期家庭教育学級【ゆりかご学級3期】	乳児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	178	178	1	成人	5	午前	10月	30	
			保育	―	―	1	成人	5	午前	10月	20	
	7	幼児期家庭教育学級	幼児期の子どもの発達や家庭教育の重要性を学ぶ	113	113	1	成人	4	午前	5～6月	20	
			保育	―	―	1	成人	4	午前	5～6月	10	
	8	児童期家庭教育学	児童期の子どもの発達や親子のコミュニケーションの重要性・スキルを学ぶ	107	107	1	成人	4	午前	後期	20	
	8-1	児童期家庭教育学　保育	児童期家庭教育学級　保育			1	成人	4	午前	後期	10	
	9	子育てひろば	乳幼児の親子の仲間づくり、情報交換、親子遊び、絵本の読み聞かせ	80	80	1	成人	6	午前	随時	20	
4. 青少年の生きる力を育む事業	10	子ども体験活動	小学生対象の夏・冬休み時に実施する体験事業	116	98	2	少年	3	午前・午後	8・12月	80	
	11	子ども映写会	DVD上映	―	―	2	総合	2	午前	8・3月	―	
5. 高齢者の学習や社会参加を支援する事業	12	いきいきセミナー	生きがいと教養を身につける高齢者対象の講座	73	73	1	高齢者	8	原則午前	5～12月	25	
6. 現代的課題を探り、解決を支援する事業	13	女性セミナー	男女の役割を見直し、生活技術を身につける。地域の仲間づくり推進とコミュニケーション能力を身につける	141	141	1	成人	5	午前	後期	20	
	14	地下道清掃	横越出張所付近の地下道や街灯を地域団体等で清掃する	―	―	1	総合	1	午前	10月	―	横越小・中学校、コミ協、JA等
	15	学習室開放	学習のため学習室を開放	―	―	1	総合	341	午前・午後	通年	―	
合　　計				1,086	1,079	19	―	396	―	―	275	

平成３１年度　新潟市公民館事業の基本方針

1　はじめに

新潟市は、新潟市教育の大綱（対象期間：平成 27 年度～31 年度）で、目指す市民の姿を「生涯を通じて学び育つ、創造力と人間力あふれる新潟市民」とし、取り組みの方針に「学・社・民の融合による教育の推進」を掲げました。また、新潟市総合計画「にいがた未来ビジョン」（計画期間：平成 27 年度～34 年度）では、目指す都市像の一つである「市民と地域が学び高め合う、安心協働都市」を実現するために「学・社・民の融合による教育を推進するまち」を政策の一つに位置付けています。

新潟市教育委員会は平成 27 年３月、新潟市教育ビジョン第３期実施計画を策定し、生涯学習の目指す方向を、「公民館などの学びの場を核とした、絆づくりと活力あるコミュニティの形成」と「現代的・社会的課題やライフステージなど一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実」、「学校での地域活動拠点づくりや職員の資質向上など、生涯学習・社会教育の推進を支える基盤整備」と定めています。

新潟市公民館は平成 22 年９月に「地域に出かけ、住民と一緒に考え、地域の絆づくりを支援する公民館」を宣言しました。

人口減少、少子・超高齢社会を迎え、子どもをはじめ高齢者まで誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりの必要性が高まっています。このような中、これからの公民館は、単に学ぶ場だけではなく、地域課題や生活課題の把握に努め、これまで以上に地域に寄り添い、地域づくり・人づくりに資する事業を展開することが重要となります。

2　基本方針

(1)　学びを通じた地域の絆づくりとコミュニティ活性化

市民と地域が、学びを通じてつながりを深め、地域課題や社会的課題に取り組む人材を育成し、地域に絆をつくり、コミュニティの形成と活性化に努めます。

(2)　学・社・民の融合による地域の教育力の向上

学校、家庭、地域そして公民館等の社会教育施設が連携・協力しながら、地域社会全体の教育力の向上に努めます。

(3)　市民一人一人の多様なニーズに応じた学習機会の充実

子育てや家庭教育の支援、青少年の健全育成や高齢者の学習機会の充実など、各世代の学びの場の提供と支援に努めます。

3　基本施策

(1) 地域コミュニティ活動の活性化を支援
(2) 学・社・民の融合による人づくり、地域づくりの推進
(3) 家庭における教育力向上の支援
(4) 青少年の生きる力を育む機会の充実
(5) 高齢者の学習支援や社会参加の促進
(6) 現代的課題を探り、問題解決を促す学習機会の提供

4　事業実施と評価

各公民館は、基本方針を基に地域の実情やニーズにあわせた事業を実施し、事業実施後は、事業の内容や成果について評価を行い、今後の公民館事業の充実を図ります。